

■韓国：政府、2020年までに2,400万軒にスマートメーターを設置へ

韓国知識経済省は2009年10月5日、2020年までに、1.47兆ウォン（約1,176億円）を投じて全国大でスマートメーターを普及する方針を明らかにした。政府は2030年までに、スマートグリッドの構築を目指しており、その一環として、スマートメーターの設置を進めるとしていた。政府は、スマートグリッドの構築によって、需要家が電力需給の状況をリアルタイムで把握したり、太陽光や風力による電力を需要家が一旦蓄電し電力会社へ売電したりすることが可能になり、省エネや温室効果ガスの削減、環境産業の育成などの効果を期待している。メータ設置の対象需要家は、既に自動検針メータを設置している一部家庭と産業需要家16万軒を除く、家庭部門および業務部門の2,400万軒の需要家である。